

古丹別川水系 流域治水プロジェクト【位置図】

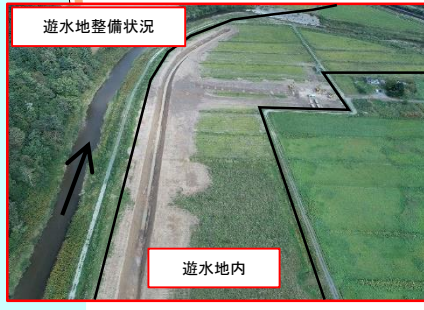
～開拓の歴史を受け継ぐ農村地帯を守るための流域治水対策～

○平成28年8月洪水で甚大な被害が発生した古丹別川水系では、山間部の流域治水プロジェクトとして以下の取り組みを実施していくことで、平成28年8月洪水と同規模の洪水に対応した治水対策を行い、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・河道掘削、堤防整備、遊水地新設、河道内樹木伐採
 - ・砂防関係施設の整備
 - ・農地防災ダムの機能保全
 - ・溜池整備
 - ・農業用排水施設及び農用地整備等
 - ・水田等の貯留機能有効活用に向けた調整等
 - ・苫前ダムにおける事前放流の実施、体制の強化
 - ・治山施設等の整備
 - ・植栽、間伐などの森林整備

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・水害対応タイムラインの作成
 - ・重要水防箇所の情報共有
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成促進
 - ・苫前ダムBCP策定
 - ・関係機関と連携した避難訓練等の実施
 - ・指定避難所の標識設置検討
 - ・危機管理型水位計の活用検討及び住民への周知
 - ・防災教育・講習会の実施



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

～開拓の歴史を受け継ぐ農村地帯を守るための流域治水対策～

○古丹別川水系では、本支川の流域全体を俯瞰し、道・町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】遊水地を新設し、洪水被害の軽減を図る

【中期】本川における流下能力不足を解消するため、河道掘削及び堤防整備を実施

【中長期】古丹別川流域全体における河道状況を把握して、河道掘削・樹木管理を実施するなど適切な維持管理に努める

○あわせて、砂防・治山施設の整備、流域内に水田などが多く占める土地利用状況を利用した田んぼダム・ため池の有効活用する。また、水害対応タイムラインの作成、関係機関と連携した避難訓練等を実施し、防災体制の強化を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、遊水地新設、河道内樹木伐採	北海道	遊水地新設	河道掘削、堤防整備	河道内樹木伐採
	支川の河道掘削、河道内樹木伐採	苫前町		河道掘削	河道内樹木伐採
	水田等の貯留機能有効活用、支援	北海道、苫前町、土地改良区		水田等の貯留機能有効活用に向けた調整	
	農業用排水施設及び農用地整備等	北海道、苫前町、土地改良区		水田等の貯留機能有効活用に向けた施設整備等	
	農地防災ダムの機能保全(上小川ダム)	北海道		施設の適正な維持保全	
	溜池整備	北海道	溜池整備		
	利水ダムにおける事前放流実施、体制強化	留萌開発建設部 苫前町		苫前ダムにおける事前放流の実施、体制の強化	
	砂防関係施設の整備	北海道	砂防堰堤整備		
	治山施設整備	北海道 森林管理署		治山施設整備	
森林の水源涵養機能維持・向上のための森林整備	北海道 森林管理署 森林組合		森林整備		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害タイムラインの作成	北海道		タイムラインによる試行運用を継続する(減災対策協議会の取組を反映)	
	重要水防箇所の合同巡視	北海道		重要水防箇所を合同巡視する(減災対策協議会の取組を反映)	
	要配慮者利用施設における避難確保計画作成促進	北海道		要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進(減災対策協議会の取組を反映)	
	指定緊急避難場所、指定避難所の標識設置・検討	苫前町	減災対策協議会の取組を反映		
	苫前ダムBCP策定	苫前町		苫前ダムBCPを策定する(減災対策協議会の取組を反映)	
	危機管理型水位計の活用検討、住民への活用等の周知	苫前町		危機管理型水位計の活用方法について検討し、住民への周知を図る(減災対策協議会の取組を反映)	
	防災教育・講習会等への支援・参加	北海道		学校等が実施する防災教育・講習会等への支援・参加(減災対策協議会の取組を反映)	
	住民、関係機関が連携した避難訓練の実施、防災訓練の実施	苫前町		上小川ダムの防災訓練実施、住民・関係機関が連携した避難訓練の実施(減災対策協議会の取組を反映)	

- 河川対策
全体事業費 20億円
河道掘削、遊水地整備等
- 砂防対策
全体事業費 9億円
砂防堰堤整備等

※1:事業費は令和3年度現在のもので、今後変更になる可能性はある
 ※2:北海道の河川整備計画の残事業を記載
 ※3:北海道の砂防事業の残事業を記載

